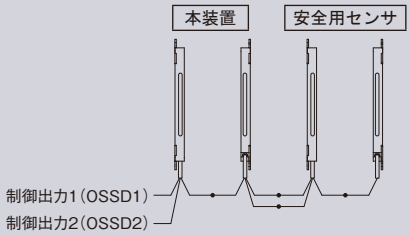
■正しくご使用ください

詳細については、取扱説明書（マニュアル）をご参照ください。
取扱説明書（マニュアル）はWebサイトよりダウンロードできます。

- 安全入力1／2に接続する別の**SF4C**シリーズのケーブルは、0.2mm^{2}以上のシールドケーブルを使用してください。
- 安全入力1／2に接続した別の**SF4C**シリーズのケーブルを延長するときは全長40.5m以下（投・受光器各）でご使用ください。全長が40.5mより長くなると本装置が誤動作し、死亡または重傷を負うおそれがあります。
- 安全用センサの応答時間には、本装置の応答時間が加算されます。



本装置の応答時間	安全用センサの応答時間
9ms以下（**SF4C-F**□） 7ms以下（**SF4C-H**□）	〈例〉安全用センサに**SF4C**シリーズを使用した場合 安全用センサの応答時間＋本装置の応答時間＝7ms＋7ms （安全用センサ・本装置ともに**SF4C-H**□の場合）＝14ms

- 安全用接点にはNC（ノーマルクローズ）接点が2個装備された接点を使用し、安全入力1線（灰）と安全入力2線（灰/黒）の両方とも配線を行なってください。片側のみの配線だけでは正常に動作しませんのでご注意ください。
- 本装置をPNP出力（またはNPN出力）で使用する場合、使用する安全用センサはPNP出力タイプ（またはNPN出力タイプ）を使用してください。異なった出力を使用すると、制御出力1／2（OSSD1／2）がOFFとなります。
- 安全入力1／2に別の**SF4C**シリーズを接続することで、制御出力（OSSD1、OSSD2）を集約することができます。但し、本装置には干渉防止機能を装備していませんので、設置には充分ご注意ください。
- 安全用センサには制御出力に交差短絡機能を装備したセンサを使用し、安全入力1線（灰）と安全入力2線（灰/黒）の両方とも配線を行なってください。片側のみの配線だけでは正常に動作しませんのでご注意ください。
- 安全入力機能を使用しない場合、下表の通り+Vまたは0Vへ接続してください。

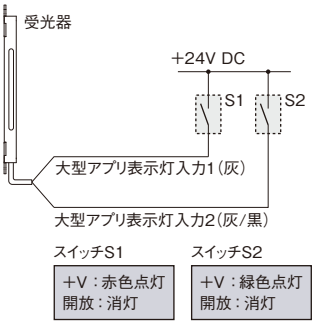
安全入力機能	PNP出力使用時		NPN出力使用時	
	安全入力1線（灰）	安全入力2線（灰/黒）	安全入力1線（灰）	安全入力2線（灰/黒）
安全用接点入力モード	+Vへ接続	0Vへ接続	+Vへ接続	0Vへ接続
安全用センサ入力モード	+Vへ接続	+Vへ接続	0Vへ接続	0Vへ接続

- ハンディコントローラ**SFC-HC**（別売）を用いて、入力モードの設定切り換えが可能です。

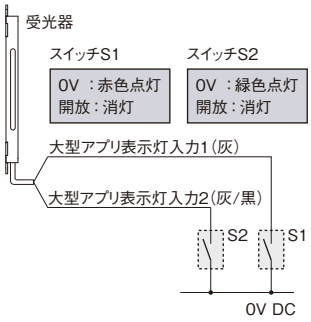
大型アプリ表示灯機能

- 大型アプリ表示灯入力1線（灰）または大型アプリ表示灯入力2線（灰/黒）の配線により、大型アプリ表示灯の点灯／消灯の選択が可能です。

〈PNP出力選択時〉

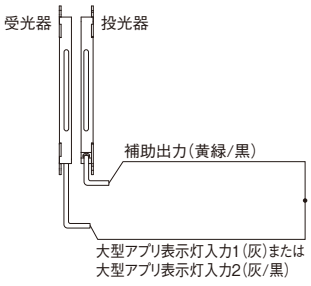


〈NPN出力選択時〉



- 大型アプリ表示灯入力1線（灰）または大型アプリ表示灯入力2線（灰/黒）を補助出力線（黄緑/黒）またはミューティングランプ出力線（赤）のいずれかに配線することにより、各出力と連動させることができます。

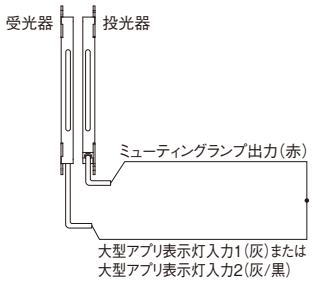
補助出力と連動させて使用する場合



・補助出力へ接続

補助出力ON ：点灯
OFF：消灯

ミューティングランプとして使用する場合



・ミューティングランプ出力へ接続

ミューティングランプ出力ON ：点灯
OFF：消灯

- ハンディコントローラ**SFC-HC**（別売）を用いて、大型アプリ表示灯の動作（点灯／点滅／消灯）設定を変更することが可能です。詳しくは、P.6をご参照ください。